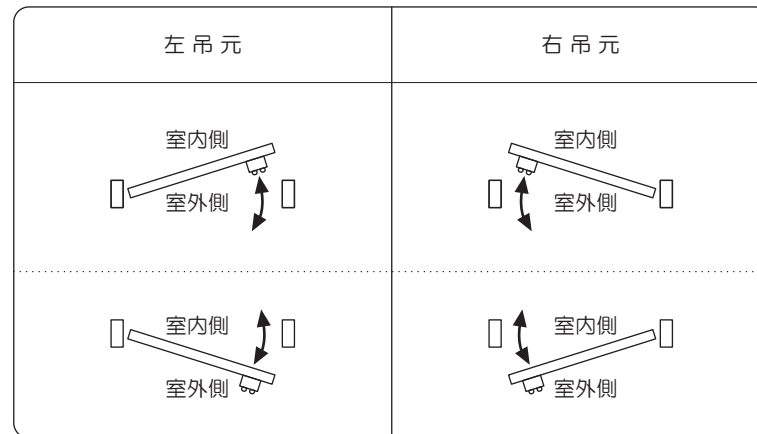


吊元の確認

下図で吊元を確認します。



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス 500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。 (同じボタンを 2 度押しする設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドラッチ (鎌デッド) を突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



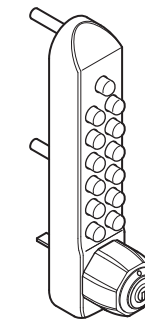
取り付けてある建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX[®] 500

キーレックス 500 鍵付
GOAL
(LH・HN・SAK)
シリンダー取替

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22279M

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株 式 会 社 長 沢 製 作 所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 06-6783-5092

基本操作

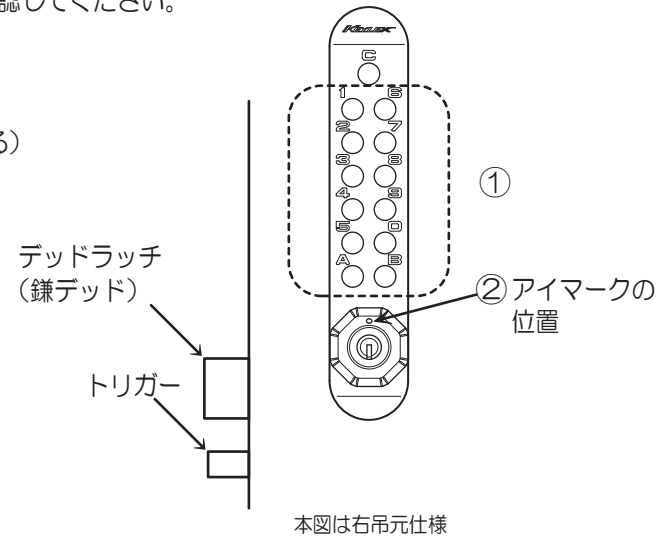
シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に代わります。ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが 図の位置（真上）にある
- ③ デッドラッチを押すと錠に収まる（鎌デッドは錠に収まっている）
（突き出ている場合は、ロックターンを操作して、
デッドラッチ（鎌デッド）を正常位置に戻す）

※ 記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも
施解錠できます。

【施錠】シリンダーにキーを入れ回し、
デッドラッチ（鎌デッド）が出ることを確認します。

【解錠】シリンダーにキーを入れ回し、
デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



室内側

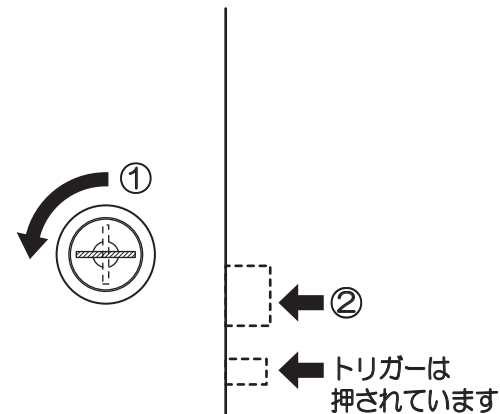
室外側

施錠

扉を閉めれば施錠されます

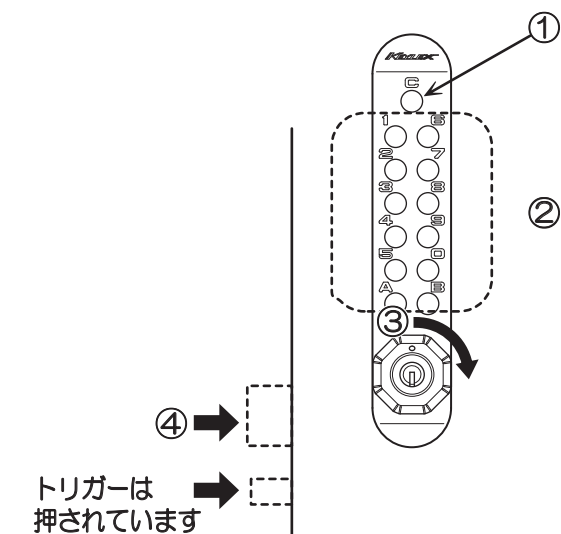
解錠

- ① サムターンを回します。
（ない時にはレバーハンドルを作動させます）。
- ② デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



解錠

- ① C ボタンを押し：誤操作の記憶番号が解除されます。
- ② 正しい記憶番号を押します。
- ③ ロックターンを回します。
- ④ デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。

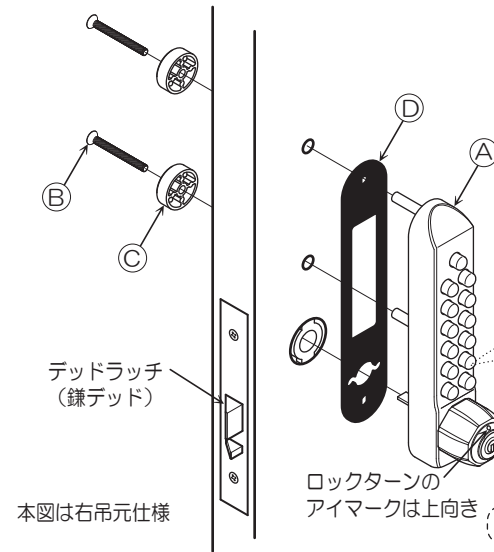


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【１】キーレックス本体を取り外します

室内側



錠のデッドラッチ（鎌デッド）が収まっている状態で取り外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。

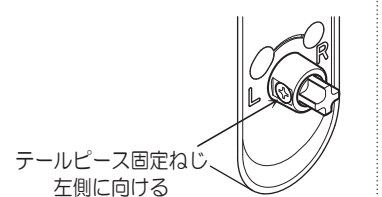
- I：④ キーレックス本体の落下に注意しながら、⑧ 本体固定ねじを外します。
II：④ キーレックス本体、③ 室内丸座、① 樹脂ベースを取り外します。
※：取り付け時は、デッドラッチ（鎌デッド）は解錠状態、ロックターンの
アイマークは上向き、テールピース固定ねじの位置は吊元（裏面参照）と
あわせませす。

④裏側【吊元とテールピース固定ねじの位置】

左吊元



右吊元



【２】記憶番号の設定変更をします。⚠ ロックターンのアイマークは常に真上の位置を保ってください。

【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側の C ボタンを押します。

⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないで
ください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する
場合があります。必ず押してください。

- ② 本体を裏返します。

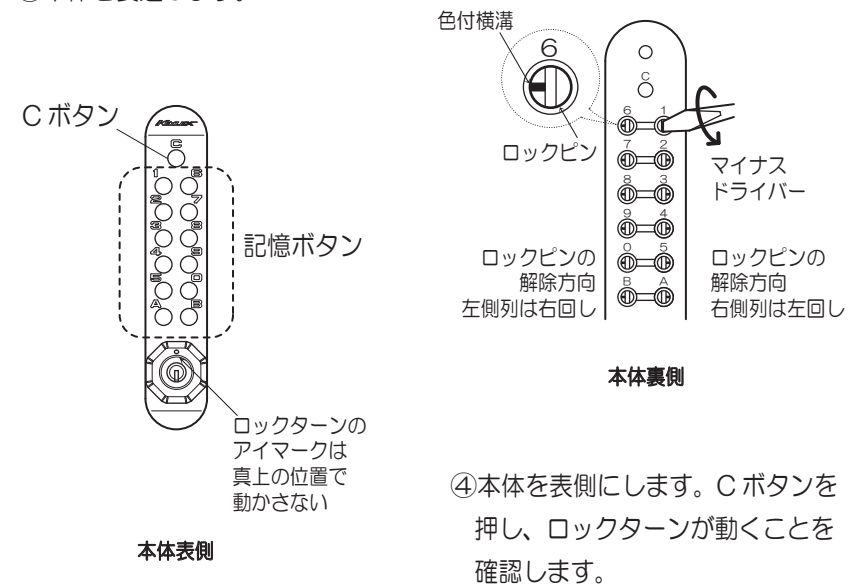
【現在の記憶番号を解除】

- ③ 本体裏側の、記憶されている
ロックピンを回転させて
記憶されている番号を解除します。
（ロックピンの色付横溝を外向きに
回転させる）

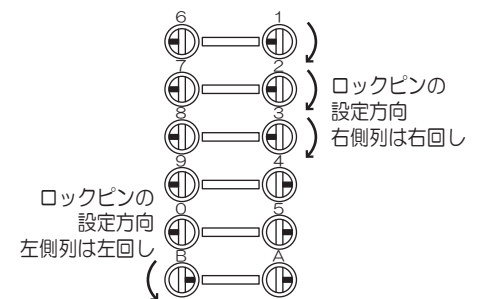
【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録して
ください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロック
ピン色付横溝を中央ライン側に合わせませす。

例：B 1 2 3



- ④ 本体を表側にします。C ボタンを
押し、ロックターンが動くことを
確認します。



- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押し、
ロックターンが解錠方向に回ることを
確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
錠のトリガーを押えたまま（閉扉と同じ状態にする為）おこないます。
正しく作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、
吊元に合わせたテールピース固定ねじの向きを確認をしてください。